



試験区分:一般農業(農業)

農林水産部 農業総合研究センター
食の安全環境部 土壌肥料担当



研究員 土井 涼平

ある1日のスケジュール

- 8:30 業務開始、朝会（部内で打合せを行い、1日の作業の流れを確認）
- 8:40 所内圃場の土壌採取
- 13:00 現地圃場の生育調査（稲の葉数や葉色などを測定し、生育状況を確認）
- 15:00 分析サンプルの調製（土を細かく粉砕し、分析の準備）
- 16:30 データ取りまとめ
- 17:15 業務終了

入庁後の経歴

- 令和2年度 入庁 置賜総合支庁 産業経済部農業技術普及課 作物担当
- 令和5年度 農業総合研究センター 食の安全環境部 土壌肥料担当



Q

現在の担当業務を教えてください。

環境への負荷が少ない新しい肥料の施肥試験や堆肥の連用試験、県内の土壌調査を行っています。本県農業の課題解決に向けて取り組んだ研究が地域や産地で活用され、農業者の所得向上につながった時、喜びを実感できます。

Q

職種のPRをお願いします。

一般農業（農業）職は、試験研究だけでなく、技術普及や行政など幅広く農業振興に関わることができ、どの業務もとてもやりがいのある仕事です。担当業務を通して栽培技術や普及手法を習得し、自らの成長を日々実感できる点も魅力の1つです。皆さんもぜひ、県職員として一緒に働きましょう！

Q

これまでの業務で印象に残っていることは。

関係機関及び農業者を対象に、自らが実施した試験研究の成果を報告したことです。また、専門家との意見交換を通じて土壌肥料分野の奥深さを学ぶことができました。今後も専門知識や分析手法の理解を深め、試験研究に対する視野を広げていきたいと思っています。

